

会 議 記 錄

会議名称		杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者選定会議
日時		令和7年6月13日（金）13時00分～14時30分
場所		杉並保健所4階 会議室
出席者	委員名	保健福祉部 杉並保健所長：播磨 あかね 杉並保健所高井戸・和泉保健センター担当課長：三ツ木 浩 杉並保健所生活衛生課長：矢野 亜希子 杉並保健所高円寺・上井草保健センター担当課長：目黒 紀美子 産業振興センター事業担当課長：石野 哲夫
	事務局職員	保健福祉部参事事務取扱・杉並保健所健康推進課長：山田 恵理子 杉並保健所健康推進課 健康推進係長：坂本 昌史 杉並保健所健康推進課 健康推進係栄養士：高橋 由美子 杉並保健所健康推進課 健康推進係栄養士：太田 花梨 杉並保健所健康推進課 健康推進係：竹下 韶
配布資料	当日前	・次第 資料1 杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者選定会議名簿 資料2 健康づくり応援店選定会議設置要領 資料3 選定会議スケジュール（案） 資料4 健康づくり応援店プロポ実施要領（案） 資料5 様式集（案） 資料6 杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者選定評価基準（案）
会議次第		1 紹介 2 選定会議について 3 会長・会長代理について 4 スケジュール（案）について 5 実施要領（案）及び評価基準（案）について 6 その他

会議の結果及び
主要な発言

会長は、設置要領に基づき播磨氏、会長代理は三ツ木氏となった。
事務局から委託業務内容、飲食店の現状、健康づくり応援店（ヘルシーメニュー店）の登録基準、実施要領（案）及び評価基準（案）、今後の進め方について、説明を行った。

受託者候補者選定会議を8月末までに終了するため、各委員からの意見を聴取し、本日、実施要領及び評価基準を確定するよう説明した。

○質疑応答、意見等

【実施要領（案）について】

・企画提案書の健康づくり応援店の拡充の年間目標数について、新規登録数20件を指しているという理解で良いか質問があり、お見込みのとおりと回答し了解を得た。

・企画提案書の2（4）について、「既存の登録店舗が継続できるような」フォロー等の取組、と具体的に記載したほう良いとの意見があった。

・定食などのメニュー登録だけでなく、居酒屋やコンビニで食事の組み合わせなどで基準を満たす場合に健康づくり応援店とするのはどうかとの意見があった。

・例えば、健康アプリとの連携や、SNSの活用等、健康づくり応援店の周知に向けた取組への記載を求めてはどうかとの意見があった。

【評価基準】

・既存の健康づくり応援店へのフォロー等に関する評価について、提案書の記載に合わせた評価基準とするべきとの意見があった。

・利用率向上等に向けたツールの工夫や表示媒体の提案等について、2つの類似する評価項目があるとの意見があつたため、1つにまとめることとした。

各委員からの意見、質疑を踏まえて、実施要領（案）及び評価基準（案）を修正することとした。

次回の開催について

第2回選定会議：8月中旬～下旬

会議名稱		杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者選定会議
日時		令和7年8月26日（金）13時15分～14時30分
場所		杉並保健所 地下講堂
出席者	委員名	保健福祉部 杉並保健所長：播磨 あかね 杉並保健所高井戸・和泉保健センター担当課長：三ツ木 浩 杉並保健所生活衛生課長：矢野 亜希子 杉並保健所高円寺・上井草保健センター担当課長：目黒 紀美子 産業振興センター事業担当課長：石野 哲夫
	事務局職員	保健福祉部参事事務取扱・杉並保健所健康推進課長：山田 恵理子 杉並保健所健康推進課 健康推進係長：坂本 昌史 杉並保健所健康推進課 健康推進係栄養士：高橋 由美子 杉並保健所健康推進課 健康推進係栄養士：太田 花梨 杉並保健所健康推進課 健康推進係：竹下 韶
配布資料	当日前日	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 <p>資料1 選定会議スケジュール 資料2 杉並健康づくり応援店の拡充等業務 書類審査評価結果 資料3 杉並区健康づくり応援店の拡充等業務 書類審査表 別紙1 杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者選定会議</p>
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶 2 第一次審査の結果報告 3 第二次審査の流れ、ヒアリング時間、採点表について 4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）の実施 5 採点集計結果の報告・協議、事業者選定 6 その他

会議の結果及び
主要な発言

- 1 挨拶
- 2 第一次審査の結果報告

一次審査の結果報告を改めて行った。
- 3 第二次審査の流れ、ヒアリング時間、審査表について

事務局から二次審査の流れ、時間配分、審査表の記入について説明を行った。
- 4 第二次審査の実施（プレゼンテーション・ヒアリング・採点）

二次審査の対象となる事業者について、各事業者のプレゼンテーションに對し、質疑応答、審査を行った。

【事業者への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は事業者の回答）

- ・強みとしてこれまで、多様な店舗や区民に対応してきたとのことだが、具体的にどのようなニーズ、対応してきたのか。
→例えば、店舗への連絡方法が限られている場合（電話、DM、対面のみなど）に、管理栄養士が店舗の状況に合わせて柔軟に対応した。また、地域ごとにガイドブックを作成することにより、区民のニーズにも対応していると考える。

- ・これまで事業を行っていたうえで困ったこと、大変だったことやそれらをどのように解決したのか。

→事業開始時、事業への理解が進んでいない時期に、事業者へ応援店登録のメリットを伝えることが難しかった。複数回訪問し、良い関係を築きながら、丁寧に説明を行い、登録店を増やしていく。

- ・認知度を上げる取組みとしてどのようにやってきたのか。

→区の施策に便乗した周知や、SNSに掲載し、若年層にアプローチを行った。

- ・コロナ以降、外食・中食が増加と説明があったが具体的なデータなどはあるか。
→具体的なデータはないが、体感としてテイクアウトや間借り店舗が増え、外食・中食も増えた印象。

- ・応援店を増やすことについて、店舗への支援策として広く周知に訴える方法は考えているか。

→今のところ、訪問・メール・チラシの配布を考えているが、今後SNSの更なる活用も検討していく。

- ・健康メニューを見る化があるが、具体的な実施策は。

→A4にパウチした、ヘルシーメニューの媒体を店舗に置くことで可視化を図る。

- ・店舗へのフォローアップはどのくらいの頻度で実施しているのか。

→年1、2回ではなく継続的に行っていきたい。

- ・事業者とのやりとりについて、ZOOMなどのオンラインを活用した方法での実

施は考えているか。
→店舗の中にはオンラインに対応が難しいところもあるため、相手事業者と調整しながら取り組みたい。

【委員からの主な意見】

- ・周知について、引き続き杉並区の実態を加味しながら実施してもらいたい。
- ・熱意は感じられたが、具体性としてイメージしづらい部分があった。
- ・社会情勢や区の今後の当事業への評価も含め、事業のあり方や工夫などを検討しながら、より効果的な事業とするため引き続き検討する必要があると感じた。
- ・当事業を今後区民にどのように周知していくか、店主たちにどのように伝えていくかが課題だと感じた。今後、健康アプリなどの既定事業やインセンティブなどを上手く工夫と連携しながら事業を推進していく必要があると感じた。

5 採点集計結果発表及び受託者候補者の決定

意見交換の内容を踏まえ、選定委員の合意の上、配点合計に対する評価点の合計が6割以上、かつ、第一次審査及び第二次審査の総合計が最上位の事業者を、受託者候補者として選定し、区へ報告した。

※審査結果は、別紙「杉並区健杉並区健康づくり応援店の拡充等業務受託者候補者の選定結果」のとおり。

6 その他

参加事業者への選定結果通知及び区公式ホームページへの選定結果掲載など、今後のスケジュールについて事務局より説明した。